

日本政府初の JM00C 講座 “社会人のための データサイエンス・オンライン講座”開講実績と今後

総務省統計局 永井恵子

総務省統計局 岩野美保子

総務省統計局 伊山 遼

我が国の国際競争力を維持し、経済成長を加速させるためには、ビジネスの現場においても、データに基づく数量的な思考により課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に着けた人材が不可欠となっている。しかし、一方で、日本では、大学に統計学部がないなど、データサイエンスを身に着けた人材を大量に輩出することが困難な状況である。

このような状況を踏まえ、総務省統計局及び統計研修所は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設した。

第一弾として、本年3月に、日本政府初の JM00C 講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を開講したところである。JM00C 講座としたのは、ウェブ上に無料で公開することにより、多くの受講者を集めることができ、かつ、ディスカッションを通して、内容への理解を深めることが可能であると考えたためである。

本講座は、統計学の基礎やデータの見方といったデータ分析の基本的な知識を学ぶことができる内容となっており、データサイエンスへの高い関心を背景に、約 15,000 人の受講者を集めるとともに、ディスカッションボードを通じて活発な議論が交わされるなど、入門編として期待される役割を十分果たしたものと考えられる。また、受講後アンケートからは、おおむね高い満足度と次の講座への高い期待感が伺える。

ここでは、開講実績として、受講者アンケートなどを基に受講者の属性や満足度などについて分析した結果を報告するとともに、入門編の再開講や応用編の開講など今後の展開についても紹介する。

こうした取組を通じて、日本の企業活動の活性化及びオープンデータの利活用を促進し、地方創生に寄与することを期待する。